

## 宮城県加美農業高等学校 平成30年度「子供の読書活動優秀実践校」

### 文部科学大臣表彰受賞教育長表敬訪問について

- 1 目的 加美農業高等学校では、校内における生徒の図書利用促進に向けた様々な取り組みが認められ、平成30年度文部科学大臣表彰を受賞しました。校内の取り組みが、生徒の読書に向かう姿勢を豊かに育てているとともに、学校図書館が生徒にとっての学びの場として積極的に利活用されています。
- 具体的にどのような取り組みを行っているか、受賞の報告と併せて表敬訪問するものです。

#### ※ 子供の読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰

子供の読書、学校図書館の活用、図書館等との連携など読書を推進する近年の活動が顕著に優秀と認められる学校（小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校）に対し平成14年度より毎年度行っているもの。

同表彰は、優れた実践を行っている学校に対する他、公立・私立図書館、民間団体並びに個人に対しても行っている。

2 訪問日 平成30年 6月 7日（木）午前11時から午前11時20分まで

3 会場 県庁行政庁舎16階 教育次長室

4 訪問者 校長 高野 知行  
主幹教諭 中澤 輝博  
主任主査（司書） 中山 朋成  
生徒（農業科3年） 熊坂 和哉  
生徒（農業機械科3年） 永井 英寿  
以上5名

5 次第 1) 校長挨拶  
2) 生徒自己紹介・取り組み内容の報告  
3) 教育次長から（激励の言葉 他）

6 校内における取組概要

- ・ 新入生には半年間の義務入寮期間を設けて、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培っている。当該校では、この入寮期間に「10分間読書」の時間を設け、生徒の読書習慣の確立に努めている。
- ・ 図書館の入口付近にリクエストボックス及びリクエスト掲示板を設置し、生徒から随時希望図書の募集をするとともに、その対応状況を掲示板に明示している。リクエストに対応できない場合には対応できない理由も併せて示すことで、生徒の納得を得て、信頼を裏切らないよう努めている。
- ・ 上記等の読書活動推進の取組により、図書館利用状況は活発化し、生徒1人当たりの貸出図書数は、平成27年度6.7冊、これは県立学校の中では県内2位であり、私立学校等を含めた県の図書館研究会加盟校全体では7位であった。また、平成28年度は一人当たり9.0冊、平成29年度は一人当たり14.6冊となり、貸出図書数は増加傾向にある。